

施策名	目標3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む)				
施策の概要	水質汚濁に係る環境基準等の目標を設定して、その達成状況の改善を図るとともに、適切な地下水管理を推進し、健全な水循環の確保に向けた取組を推進する。また、海洋環境の保全に向けて国際的な連携の下、国内における廃棄物の海洋投棄の規制等による海洋汚染の防止を図る。				
達成すべき目標	水質汚濁に係る環境基準達成率の向上等により、健全な水循環の確保を目指す。また、廃棄物の海洋投棄の規制等により、海洋環境の保全を図る。				
施策の予算額・執行額等	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	当初予算(a)	2,400	2,474	2,198	2,764
	補正予算(b)	9999	0	0	
	繰越し等(c)	▲9988	9,988	(※記入は任意)	
	合計(a+b+c)	2411	12,462	(※記入は任意)	
執行額(百万円)	2265	12,283	(※記入は任意)		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)					

測定指標	1 公共用水域における水質環境基準の達成率(健康項目)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
		-	98.9	98.9	99.0	99.2	調査中	100%	△
	年度ごとの目標		-	-	-	-			
	2 公共用水域における水質環境基準の達成率(生活環境項目BOD/COD)(%)	基準	実績値					目標	達成
		年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
		(河川)	92.5	93.0	93.1	92.0	調査中	100%	△
		(湖沼)	53.2	53.7	55.3	55.1	調査中	100%	×
		(海域)	78.3	78.4	79.8	77.3	調査中	100%	×
		全体	87.8	88.2	88.6	87.3	調査中	100%	×
	年度ごとの目標		-	-	-	-			
	3 地下水における水質環境基準の達成率(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
		-	93.1	94.1	93.9	94.2	調査中	100%	△
	年度ごとの目標値		-	-	-	-			
	4 閉鎖性海域における水質環境基準の達成率(COD、全窒素、全りん)等	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
		-	「別紙のとおり」					100%	×
	年度ごとの目標値		-	-	-	-			
	5 陸上で発生した廃棄物の海洋投入処分量(万トン)	基準値	実績値					目標値	達成
年度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度		
180		183	178	173	129	集計中	180以下	○	
年度ごとの目標値		-	-	-	-				

<p>目標達成度合いの測定結果</p>	<p>(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり</p> <p>(判断根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康項目全体(27項目)の環境基準達成率(25年度)は99.2%で、主要な測定指標は概ね目標値に近い。なお、基準値超過の主な原因は、自然由来が最も多い。</li> <li>○生活環境項目(BOD/COD)の環境基準達成率(平成25年度)については、河川は92.0%、湖沼は55.1%、海域は77.3%、全体87.3%であり、昭和49年度(河川は51.3%、湖沼は41.9%、海域は70.7%、全体54.9%)と比べて改善してきている。</li> <li>○地下水の環境基準達成率(25年度)は94.2%と概ね目標値に近い。</li> <li>○閉鎖性海域については、海域によって環境基準達成率は異なるものの、7次にわたる水質総量削減規制の実施により、東京湾等に流入する汚濁負荷量は着実に削減されている。</li> <li>○赤潮発生件数についても、自然現象であるため発生件数をゼロにすることは困難であるが、近年は横ばい傾向となっており、最も件数の多い時期に比較すれば減少している。</li> <li>○陸上で発生した廃棄物の海洋投入処分量について、赤泥の海洋投入処分量が減少し、期待どおりの成果が得られた。</li> </ul>
<p>評価結果</p> <p>施策の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康項目(27項目)については、ほぼ全国的に環境基準を達成している状況。</li> <li>○生活環境項目(BOD/COD)については、全体としては流域からの負荷削減の取り組み等により徐々に改善の傾向にあるが、湖沼や閉鎖性海域では達成率は十分ではない状況。引き続き各種施策の推進により、環境基準達成率の向上を図る。</li> <li>○地下水については、概ね環境基準を達成している状況であるが、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」の項目における基準値超過率が最も高い状況である。引き続き各種施策の推進により、環境基準達成率の向上を図る。</li> <li>○閉鎖性海域については、陸域からの汚濁負荷量は着実に減少し、水質は改善傾向にあるものの、富栄養化や貧酸素水塊は依然として発生している。</li> <li>○陸上で発生した廃棄物の海洋投入処分の削減について、赤泥の海洋投入処分量については平成22年度から逡減傾向にある。また、平成26年度末に海洋投入処分を終了することとなり、十分な成果が得られている。</li> </ul>
<p>次期目標等への反映の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後も引き続き、水質汚濁の現状を把握する。また、環境基準達成率等の向上のため各種施策を推進するとともに、特に湖沼や閉鎖性海域については水環境の改善に効果的な施策の連携について検討する。</li> <li>○地下水については、特に「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」の環境基準達成率の向上のため、水循環基本計画に基づき、地域における取組の推進のために必要な情報をとりまとめたガイドライン策定等の検討を進める。</li> <li>○閉鎖性海域については、第8次水質総量削減の在り方について、中央環境審議会の専門委員会にてご審議いただいているところであるため、審議結果を踏まえ、必要な施策を進める。</li> <li>○海洋汚染防止については、引き続き、海洋投入処分の許可制度の適正な施行等により海洋環境の保全を図る。</li> </ul> <p>&lt;2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○27年度から3か年計画で、オリンピック東京大会を契機に、東京湾奥部をモデル海域としてシミュレーションモデル計算、実証試験を実施することとしている。</li> <li>○本事業により、東京湾の各エリアの特性に適する効率的・効果的な環境改善技術の提案に向けた検討を行うとともに、結果を全国の自治体・関係機関に発信し、全国の沿岸域における環境改善の取組促進を図ることとしている。</li> </ul>
<p>学識経験を有する者の知見の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央環境審議会水環境部会における各専門委員会において、環境基準項目および環境基準の水域類型指定の見直し検討について審議を行った。</li> <li>○中央環境審議会水環境部会排水規制等専門委員会において、トリクロロエチレンに係る排水基準等の見直しについて審議を行った。</li> <li>○有明海・八代海等総合調査評価委員会に二つの小委員会を設置し有明海・八代海等の再生に向けた評価について検討が進められている。</li> <li>○中央環境審議会水環境部会に設置された瀬戸内海環境保全小委員会において、瀬戸内海環境保全基本計画の変更について審議を進め、平成27年2月に閣議決定された。</li> <li>○平成26年9月に、中央環境審議会水環境部会総量削減専門委員会を設置し、第8次水質総量削減の在り方について、平成26年12月から5回開催し、審議を行った。</li> </ul>
<p>政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報</p>	<p>各年度公共用水域水質測定結果(環境省)、地下水質測定結果(環境省)</p>

担当部局名	水環境課 閉鎖性海域対策室 海洋環境室 地下水・地盤環境 室	作成責任者名 (※記入は任意)		政策評価実施時 期	平成27年6月
-------	--	--------------------	--	--------------	---------

4 閉鎖性海域における水質環境基準の達成率(COD、全窒素、全りん)等

瀬戸内海(大阪湾を除く)における水質環境基準の達成率(%) (上段:COD、下段:全窒素・全りん)	基準値	実績値							目標値
	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
	—	77 98	81 97	79 93	79 98	77 98	調査中	100 100	
年度ごとの目標値		—	—	—	—	—	—		
大阪湾における水質環境基準の達成率(%) (上段:COD、下段:全窒素・全りん)	基準値	実績値							目標値
	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
	—	67 67	67 100	67 100	67 100	67 100	調査中	100 100	
年度ごとの目標値		—	—	—	—	—	—		
東京湾における水質環境基準の達成率(%) (上段:COD、下段:全窒素・全りん)	基準値	実績値							目標値
	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
	—	68 83	63 67	68 100	63 83	63 83	調査中	100 100	
年度ごとの目標値		—	—	—	—	—	—		
伊勢湾における水質環境基準の達成率(%) (上段:COD、下段:全窒素・全りん)	基準値	実績値							目標値
	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
	—	56 43	56 86	56 43	56 57	56 86	調査中	100 100	
年度ごとの目標値		—	—	—	—	—	—		
赤潮の発生件数(瀬戸内海、有明海、八代海の順)[件]	基準値	実績値							目標値
	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	年度	
	—	104/34/16	91/35/14	89/29/13	116/44/16	83/40/16	調査中	—	
年度ごとの目標値		—	—	—	—	—	—		